

学校経営推進費 評価報告書（1年目）

標記について、下記のとおり提出します。

1. 事業計画の概要

実施課程名	全日制の課程
取り組む課題	生徒の自立支援
評価指標	・支援学校における地域連携と外部への情報の発信 ・支援学校における個々の児童生徒のライフステージに対応したキャリア教育の推進
計画名	みのおしえん どこでもカフェ プロジェクト ～屋台カフェで地域へ発信～

2. 事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の 中期的目標	<p>1. 児童生徒の一人ひとりの教育的ニーズを踏まえた教育活動の推進</p> <p>(1) 就労を通じた社会的自立をはじめとする自己実現や社会参加を促進する教育の充実を図る。</p> <p>(3) 高等部における職業コースの充実のために、就労をめざす科目（職業・作業・実習）の関連性を明確にし、授業内容の充実を図る。</p> <p>(4) キャリア教育PTが関係分掌等と連携して、キャリア教育全体計画を推進し、授業内容の充実と学校全体としての一貫性のあるカリキュラム試案を作成する。</p>
事業目標	<p>移動型カフェ（屋台）での活動をとおして「作業」「給仕」に取り組み、屋上をはじめとする校内の様々な場所で、カフェを運営することにより個々の児童生徒がそれぞれのライフステージに応じた社会的自立への体験を蓄積する。更に地域の小・中学校の行事や事業所等で開催されるイベントに参加し、地域との交流を図るとともに、児童生徒においては「制作」「調理」「接客」等を体験する。</p> <p>また、これらの取組みを箕面支援学校を地域に発信する機会とし、小・中学校の特別支援教育力の向上、障がい者理解につなげていく。これらの体験により、早期から児童生徒の「自己有用感」を高めるとともに個々の「考える力」を育成し、それぞれの社会的自立をイメージする力をつけ、高等部卒業時の就労者数と進学（大学、専門学校等）者数増加の成果が見込まれる。</p>
整備した 設備・物品（数量）	<p>・モバイル屋台キット(3)・屋台保護パレットシートカバー(3)・折りたたみアルミベンチ(25)・折りたたみテーブル(15)・収納台車(3)・業務用コーヒーマシン(3)・電子レジスター(1)・ユニフォーム[カフェエプロン](30)・大型クーラーBOX(1)・インバータ発電機(3)・中型物置[1370×1790×2075](3)・コーヒー豆1kg(5)・信楽粘土20kg(1)・赤信楽すいひ粘土2号20kg(1)・黒陶土(細)20kg(1)・油滴天目釉1L(1)・柿天目釉1L(1)・白鳳マット釉1L(1)・陶芸本焼き絵の具(2)・プランター(3)・ステンレス製プランターハンガー(3)・培養土[25L](3)・2×4材(4)・1×4材(6)・ラワン合板[6mm](5)・コースレッド特箱[38mm](2)・コースレッド特箱[51mm](2)・コースレッド特箱[75mm](2)・和紙(1)・染料(1)・画用紙[八つ切り](2)・絵の具[アクリル12色](2)</p>
取組みの 主担・実施者	<p>主 担： 特色創造PT（教頭・首席、各学部教諭）、キャリア教育連絡会議のメンバー（首席【部主事】、キャリア教育コーディネーター【教諭】）</p> <p>実施者： 高等部Bグループ・Cグループ担当を中心に全校教職員</p>
本年度の 取組内容	<p>○『共同学習』</p> <p>・カフェ（小6、中B）香り体験／接客デモ、コースター試作／接客練習、屋台制作／カフェ「レ」OPEN →【使用物品】屋台・コーヒーマーカー・コーヒー豆</p> <p>・買い物（小1、高1）接客／レジ体験共同学習</p> <p>・コミュニケーション学習（小5、高1）店員／客 →【使用物品】レジスター</p> <p>○接客ロールプレイ（中、C総合）</p> <p>○カフェ新聞（高、社会）</p> <p>○ロゴマーク制作（高、造形／美術 中、学年活動 小、図工）</p> <p>○屋台制作（小中、共同学習／高、作業） →【使用物品】屋台</p> <p>○屋台デザイン（高、情報／造形／美術）</p> <p>○『サンプル制作』</p> <p>・コースター（小、学年活動／図工）</p> <p>・菓子皿（中、Aせいかつ）</p> <p>・紙コップ模様（高、造形／美術／A生活）</p> <p>・コーヒーキャンドル（高、総合）</p> <p>○カフェ体験（豆挽き、香り、試飲等） →【使用物品】コーヒーマーカー・コーヒー豆</p> <p>・小、4年学年活動（香り）</p> <p>・中、Aグループタイム（香り）</p> <p>・高、A生活（豆挽き・香り）BC（調理実習）</p> <p>○ポスター制作（高、情報）</p>

<p>成果の検証方法 と評価指標</p>	<p>①小・中学部の児童生徒全員が接客ロールプレイを経験する。喫茶用の食器を完成させる。 ②高等部生徒を中心に屋台のデザインを完成させる。また、Bグループ生徒は必ず接客練習を体験する 評価指標： ・学校教育自己診断において本校のキャリア教育への取組みに関する肯定的評価(保護者・教職員)が60%を超える。 ※学校教育自己診断にキャリア教育に関する項目を新設する。</p>
<p>自己評価</p>	<p>①小・中学部の児童生徒全員が接客ロールプレイを経験する。喫茶用の食器を完成させる。 →小学部児童約30%、中学部生徒約50%が接客ロールプレイを経験した(△) 小学部児童約50%、中学部生徒約40%、高等部生徒約60%が喫茶使用物品のサンプル製作に携わった(△) ②高等部生徒を中心に屋台のデザインを完成させる。また、Bグループ生徒は必ず接客練習を体験する。 →高等部屋台デザインに77作品の応募があり、投票の結果デザインが決定した(○)</p> <p>・「どこでもカフェ」のロゴマークを全校で募集し、111作品中から投票の結果、全校シンボルと各学部シンボル、計4作品が選ばれた(◎) ・2学期授業開始日、および終業式、3学期始業式に「おもてなし集会」のコーナーを設定し、プロジェクトの進捗状況(ロゴマーク選出の表彰等含む)を発表することで児童生徒の興味・関心が高まった(◎)</p> <p>評価指標： ・学校教育自己診断において本校のキャリア教育への取組みに関する肯定的評価(保護者・教職員)が60%を超える。 ※学校教育自己診断にキャリア教育に関する項目を新設する。 →教職員64.0% 保護者61.4%であった(○)</p>
<p>次年度に向けて</p>	<p>(1) 教育課程 可能な限り、授業・領域で年間指導計画に事業を入れる。授業3時間相当分の内容で、評価をする。 なお、単元の目標設定時や初回授業においては、必要に応じてサンプルを提示する。</p> <p>(2) 飲食【主に高等部において】 調理は行わずに、成分表示のあるシンプルな加工食品を購入し、コーヒーとセットにして販売する。 ただし、次年度はコーヒー単品で販売(単価50円程度で保護者、教職員対象)する。</p> <p>(3) 全体事業 ○「全校交流会」の2回目以降の3回分をカフェ交流として実施する。全校児童生徒が6～7つのグループに分かれ、接客や注文等のロールプレイを経験する。 ○「おもてなし集会」として、各学期終業式修了式の中で時間を設定し、学部毎の取組み実践の発表などで成果の共有を図る。 ○「参観週間」等で保護者に向けての「カフェオープン」を実施する。学部により、取組み方に違いが生じるが、2年目計画の中心的事業として位置付けている(小学部各学年必ず1回以上、中学部各学年必ず1回以上、高等部生徒1人必ず1回以上)。 ○「納涼大会」への参加、高等部卒業学年を中心に販売チームを編成しPTAの1ブースを担当する。</p> <p>(4) 教科・領域での事業 ○小学部は、学年活動で、紙コップ・紙コップ・ポスター・コースター・チケットの制作、屋台装飾、教科「くらしゼン」でのドライフラワー作り、keynoteのスライドをもとに接客ロールプレイなどを計画。 ○中学部は、学年活動や教科「総合」での屋台装飾、「つくる」「生活」等での菓子皿・ドライフラワー作り、「総合」「技術・家庭」でのカフェオープンなどを計画。 ○高等部は、教科「社会」「美術」「家庭」での広報、屋台装飾、コースター作り、調理実習、また、領域「作業(窯業)」「実習」「情報」での販売製品作り、接客ロールプレイ、ポスター作り、その他、「生活」「総合」「手指」での制作、接客ロールプレイなども計画。 →全校児童生徒が必ず年間を通じて1回以上の接客ロールプレイやカフェイベントを経験し、事業関連の製作、作業に全員が携わることをめざす。</p>